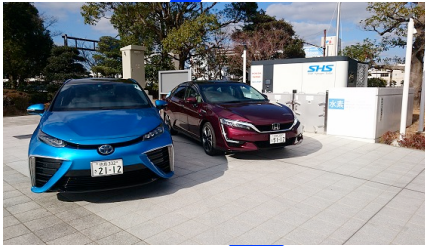




徳島県の気候変動対策について



令和3年1月24日

徳島県危機管理環境部環境首都課

脱炭素社会をリード！「環境首都とくしま」の取組み

現状

パリ協定

温室効果ガス排出
実質ゼロへ

2016年 発効！
2020年 本格始動！

2020年世界の
平均気温

しかし、
世界は...

◆観測史上最も高い！
◆各地で異常気象や
気象災害が頻発！

そして、
日本も...

「豪雨」や
「猛暑」など、
「災害列島」
の様相を呈し、といわれる状況に

気候危機

徳島県では

★気候変動対策「**三本の矢**」(2016年度)で**全国をリード**！

➔①「すだちくん未来の地球条例」→脱炭素社会の実現へ、「緩和策」と「適応策」を明記

全国初



➔② **緩和策** 温室効果ガス削減目標 (2030年度) →▲40.0% (国▲26.0%)

全国トップクラス

➔③ **適応策** 気候変動適応戦略 国へ提言→「**気候変動適応法**」が 成立

緩和策

エシカルなライフ
スタイルへ転換促進

- 環境活動連携拠点
「**エコみらいとくしま**」
設置 (2010年)
- 「**エシカル条例**」制定
(2018年)

自然エネ・水素エネ
の導入促進

- 自然エネ協議会
会長県(2013年～)
- 「徳島県**水素グリッド**
構想」策定(2015年)

森林吸収源対策

- 「**スマート林業**
プロジェクト」策定
(2019年)

適応策

- 「徳島県気候変動
適応センター」設置
(2020年)

三本の矢 ↓ **具現化へ**

エネルギー構造転換で脱炭素社会を実現！

全国知事会長・自然エネルギー協議会会長県として国をリード！

全国知事会の提言・取組

- ✓ 「ゼロカーボン社会構築推進PT」設置
 - ・国による「2050年温室効果ガス実質ゼロ」表明
 - ・「2030年に再エネ発電比率40%超」の目標
- ✓ 国と地方の協議の場における「分野別分科会」の設置

- 自然エネルギー協議会の提言により実現
- 自然エネルギーの「主力電源化」
 - 地域間連系線の増強が具体化
 - 市場と統合する新たな買取制度への動き

政策への反映

菅首相「2050年カーボンニュートラル」宣言

- ✓ 実質ゼロに向けた成長戦略策定
- ✓ 研究開発支援のため2兆円の基金創設
- ✓ 脱炭素に向けた設備投資に税控除
- ✓ 2050年に水素利用量を2000万トン導入目標
- ✓ 「国・地方脱炭素実現会議」の創設

県内でも自然エネルギー導入加速！

- 2019年度「電力自給率」29.6%
- 国の2030年度目標を既に達成！

2030年度「電力自給率」50%へ！「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」を着実に実施し自然エネルギーの最大限導入へ！

企業局マリンピア沖州メガソーラーと木屋平ピコ小水力



水素エネルギー「社会実装」を推進！

2015年10月
全国に先駆け「水素グリッド構想」を策定！

- 自然エネ由来・水素ST設置 **中四国初**
- 商用・移動式水素ST整備を支援 **四国初**
- 公用車へのFCV率先導入 **全国トップクラス**

「地方発の水素社会」実現へ取組み加速！

- 地産エネルギー「副生水素」
活用の水素供給体制構築
- FCバス・FC船など
水素モビリティの導入促進



FCバス県内実証運行

エシカルなライフスタイルへ転換促進！

エシカル消費の普及

○「消費者行政新未来創造オフィス」
開設(2017年)

➢消費者行政・教育の取組み
10を超える主要プロジェクトの展開

◇ 2020年4月「消費者庁新未来創造戦略本部」

○「エシカル条例」制定
(2018年)

➢環境等に配慮した
思いやりのある消費行動の推進

全国初

○「G20消費者政策
国際会合」

徳島開催
(2019年9月)

恒常的拠点へ発展！

県民、事業者のエシカルな環境意識の向上！

県民総ぐるみでの取組み

●環境活動連携拠点「エコみらいとくしま」

2010年開設

2017年4月 **パワーアップ**
オープン

事業者、県民、行政が一体となり、
県内の環境活動の輪を拡大！



●徳島県 **学生地球温暖化防止活動推進員**

2015年設置 **全国初**

次代を担う環境人材の育成

イベント等において
大活躍！



世界的な課題解決へ

●「食品ロス削減全国大会in徳島

～エシカルでひろげよう～」開催(2019年)

食品ロス削減による

食ロス法制定後初

「脱炭素社会の実現」「エシカル消費の推進」

●「ICTを活用した**フードバンクシステム**」

国に先駆け構築

●「**レジ袋削減**に関する協定」締結(2019年)

事業者、消費者協会、県民会議、県の**4者協定**

→食品スーパーチェーンの80%超で有料化

→年間約7千万枚のレジ袋削減

全国に先駆け実施

適応策の主流化で持続可能な「とくしま」へ！

適応策の主流化

- 「徳島県気候変動対策推進計画（適応編）」今年度改定

～気候危機を迎え撃つ、強く、しなやかな徳島～

計画の方向性

➢ 気候変動のリスクを低減し安全安心な社会づくり、ピンチをチャンスに地方創生につながる地域づくり
事前復興や農林水産など、6分野ごとに施策を推進！

基本施策(例)

自然災害を迎え撃つ
“県土強靱化”

➢ 流域単位で「流域水管理行動計画」を策定、
事前防災・減災対策を積極展開

新たなとくしま
ブランドの創出

➢ 高温耐性・気候変動対応型品種の導入・開発
及びブランド確立・品質向上

➢ 熱帯果樹の省エネ・低コスト栽培技術の開発・実証



- 「徳島県気候変動適応センター」設置

(2020年3月)

- 災害への備えを促す対策の展開
- 情報発信による県民意識の醸成
- 各種研究機関との連携による産業分野支援

- ◆ 県組織(2020年4月機構改革)

気候変動対策をはじめとする環境行政と
自然災害対策などの危機管理行政を

一体化！

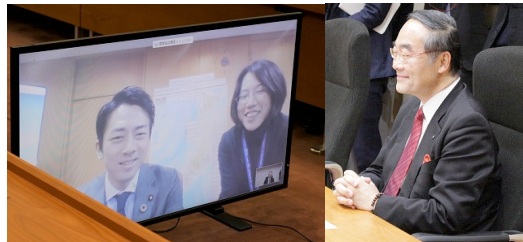
脱炭素社会へ！「環境首都とくしま」の挑戦

実質ゼロへ！県民総活躍での取り組み



2050年温室効果ガス排出実質ゼロを宣言！

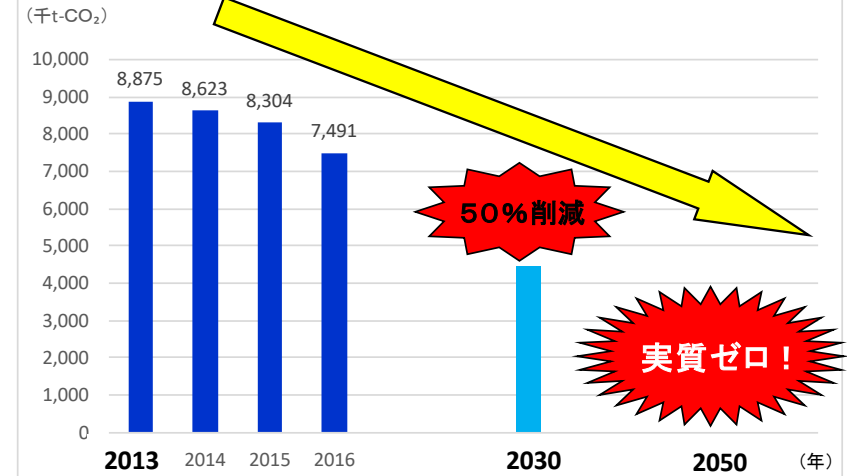
◇小泉環境大臣との
テレビ会議
(2019. 12. 6)



マイルストーン2030年度削減目標を引き上げ！

▲40% ⇒ ▲50% (2013年度比)

(排出抑制 ▲41. 8%、吸収量▲8. 2%)



●ビジネススタイルの変革促進

「徳島版ESG地域金融活用協議会」による
中小企業の環境ビジネス創出支援

●エシカル消費のさらなる普及

消費者庁や消費者団体との連携加速
➢「国際消費者フォーラム」「エシカルサミット2020」

●水素グリッド構想の推進

水素社会の早期実現へ
➢燃料電池バス導入(2020年)



●自然エネルギー導入拡大

「自然エネルギー推進PT」を活用
➢自然エネ電力自給率 50%へ(2030年)

地方から脱炭素社会の実現を牽引！